

救急医療について講演が行われた市民公開講座「名古屋市中村区の県産業労働センターで



体の代表らの講演とパネル討論があった。

名古屋掖済会病院の岩田充永副救命救急センター長は、愛知県は東京や大阪と比べ、たらい回しが少ないものの病院や救急専門医の数は比較的小さい現状を紹介し、「単純に医師の数を増やしても改善しない」と指摘。医師の吉田統彦衆院議員は、外科や産婦人科などの訴

救急医療の現状 関係者らが討論

名古屋で公開講座

NPO法人東海循環器病診療連携フォーラムの市民公開講座「今、救急医療が危ない」が十九日、名古屋市中村区の県産業労働センターであった。

循環器科医らでつくる同フォーラムが、年二回開いている講座。医師や政治家、患者団

話した。

名古屋第二赤十字病院の平山治雄循環器センター部長は「医療は社会資源。どう使っていくか考えていただくことが非常に重要」と話した。